

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	395	まえがわ隣保館管理経費	会計	01	一般会計
基本施策	39	部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める	款	03	民生費
			項	03	同和行政費
			目	02	隣保館費
担当部課名	いがまち人権センター		細目	101	隣保館管理経費
作成者氏名	山下 豊	連絡先	細々目	04	まえがわ隣保館管理経費
		45 - 4482			

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	隣保館事業拠点施設	地域住民の交流の場の提供や部落差別撤廃に向けての取り組みの拠点となる。
本年度事業内容	施設管理を行う	
運営主体	直営 指定管理 民間委託等 (委託先:)	根拠法令・要綱等 伊賀市隣保館設置条例
市内の類似施設	八幡町、久米町、木興町市民館、寺田市民館、老川隣保館、奥場野隣保館	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.4	0.4	0.4
	人件費合計(A)	2,880	2,880	2,880
支出内訳 (千円)	事業費(B)	9,024	8,398	8,560
	報酬	2,306	2,486	2,306
	需用費	4,415	3,427	3,769
	委託料	529	529	529
	その他	1,774	1,956	1,956
合計(A+B)		11,904	11,278	11,440
財源内訳 (千円)	特定財源			
	国県支出金	9,391	8,371	8,371
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	2,513	2,907	3,069
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
利用者延べ人数	人	8551	9834	11210			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
利用者延べ人数	地域住民やすべての住民が隣保館を利用することにより人権意識の向上が高まり完全解放につながる考えから利用者数を指標とした。		8551	9834	11210
			目標 ()		
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<p>当館は、部落問題の解決のため地域の拠点施設として生活上の相談事業や地域福祉、文化、教養、団体育成等事業を実施すると同時に同和問題をはじめとする人権問題の啓発の場としている。施設については、16年度に増改築工事を行い17年度に新たな隣保館として開所に至ったが今後、予測されることは、地域住民のニーズの多様化等利用者の増加傾向に伴い物件費の増額が推測され、より効率的・効果的な運営の検討を行う。</p>
--

評価	必要性	4	当館は、部落解放の拠点施設として日常的に学習会や生活相談また、教育・福祉・文化と多様な人権・同和問題の解決に向けた事業を行っている。また、地域の交流の場として今後も積極的に取り組んでいく必要がある。	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		